

附属機関等の名称 会議概要

1	審議会名	令和3年度第1回安曇野市介護保険等運営協議会
2	日	時 令和3年5月28日(金) 午後1時から午後1時55分まで
3	会	場 豊科交流学習センターきぼうホール
4	出席者	高橋琢磨委員、塚田弘子委員、奥田佳孝委員、笠原健市委員、黒澤幸恵委員、池田陽子委員、中島美智子委員、飯島康博委員、黒木昌一委員、小澤悠維委員、渡邊庸介委員、飯森さおり委員、花村尚志委員、関了委員 (欠席委員：藤岡嘉委員、永野章子委員)
5	市側出席者	鳥羽保健医療部長、西澤介護保険課長、丸山長寿社会課長、新保長寿福祉課長補佐、北條介護保険課長補佐、高橋介護保険担当係長、中澤介護予防担当係長、深井介護予防担当係長、野本介護予防担当再任用職員、前田北部地域包括支援センター職員、山岸南部地域包括支援センター職員、池松主任(事務局担当者)
6	公開・非公開の別	一部非公開
7	傍聴者	2人
8	会議概要作成年月日	令和3年6月7日

協 議 事 項 等

I 会議の概要

- 1 開会 (西澤課長)
- 2 あいさつ (鳥羽部長、中島会長)
- 3 会議の公開について
会議事項(3) 令和3年度介護サービスの基盤整備についての介護保険関連サービス候補事業者選定部会の委員指定については、事業者選考を公正・円滑にするため非公開とする。(承認)
- 4 会議事項
 - (1) 地域包括支援センターの運営について
 - (2) 安曇野市生活支援体制整備事業の実施状況について
(第1回安曇野市生活支援体制整備事業第1層協議体)
 - (3) 令和3年度介護サービスの基盤整備について【非公開】
(第8期介護保険事業計画期間における介護サービスの基盤整備)
 - (4) その他
- 5 その他
- 6 閉会 (笠原副会長)

II 審議概要

4 会議事項

- (1) 地域包括支援センターの運営について

委員：令和3年度地域包括支援センター運営事業の歳入について、介護保険保険者努力支援交付金が1000万円と計上されているが、このお金が令和3年度の歳出にどのように反映されているか。また、歳出の職員共済組合納付金について、職員何人分でどのような目的のものか。報酬、給料、手当など、介護保険料から職員への支払いが多いように感じた。(資料1-1)

事務局：介護保険保険者努力支援交付金は国の交付金で保険料に充当しているところに活用ができる。歳出として地域支援事業の中で保険料を充当している事業に活用している。

職員共済組合納付金は、地域包括支援センターの職員が正規職員2人、再任用職員2人、会計年度任用職員5人の9人体制で、そのうちの正規職員の共済費となっている。地域包括支援センターという事業所の運営には介護保険料が充てられるが、運営に必要な経費として、手当など人件費に関わる費用を計上している。

- (2) 安曇野市生活支援体制整備事業の実施状況について

質疑なし

(3) 令和3年度介護サービスの基盤整備について【非公開】

(4) その他

委員：訪問介護をする際に、家族などからハラスメントに近いことを受けるケースがある。そのような相談を地域包括支援センターや市で受けているか。

事務局：中央地域包括支援センターは、4～5月は相談なし。

南部地域包括支援センターは、相談事例あり。できるだけ男性職員に訪問をお願いし、一人での訪問が難しい場合はケアマネージャーが同席して対応している。訪問介護の事業所とケアマネージャーもしくは地域包括支援センターとの話し合いの中で解決するよう努めている。

委員：コロナウイルス感染症による介護予防教室、認定調査の実施状況についてお聞きしたい。

事務局：介護予防教室については令和2年12月から令和3年2月までは中止し、3月に再開した。休止中は、外出自粛による機能低下防止のため、申込者には課題の提供や個別指導、支援などの対応を行った。事業を委託している事業所には、ニュースレターの送付や電話による支援をしていただいた。今年度については、6月から感染状況をみながら実施していく予定。認定調査については、現在コロナウイルス感染防止のため、更新の認定申請を対象者が希望すれば1年間延長する対応を行っている。

5 その他

介護保険関連サービス候補事業者の選定部会については、6月から8月を予定。

次回の会議については、10月頃を予定。